



フィリピン

日系企業進出数：549社
 面積：299,764平方キロメートル（日本の0.8倍）
 人口：8,857万人
 一人あたりのGDP：1,866.0ドル（2008年）

基礎的経済指標

実質GDP成長率 3.8%（2008年）
 経常収支（国際収支ベース） 42億2,700万ドル（2008年）
 貿易収支（国際収支ベース） -125億8,200万ドル（2008年）
 為替レート（期中平均値、対ドルレート） 44.4746ペソ（2008年）

【出所】ジェトロ

経済動向

2008年の新車販売台数は、フィリピン自動車工業会（CAMPI）によると、前年比5.6%増の12万4,449台だった。1～9月までは前年を上回るペースで推移したものの、世界的な景気後退が深刻化した10月から伸び悩み、年末まで前年同月割れが続いた。燃料の高騰や景気後退を受け、小型車の人気上昇。低価格を武器にした韓国メーカーの躍進が目立った。2009年9月15日、セブ航空（ゴコンウェイ財閥傘下）が、マニラ大阪間の航空運賃を2,499ペソ（約5千円）で提供すると報じられた。秋に京都の嵐山や清水寺に向かう観光客の需要に応えたものだ。

マテックス株式会社

“製品へのこだわり”で日本以上のレベルを実現

フィリピンの首都マニラの南部に位置するラグナ州カランバ市に敷地面積7,823㎡の精密射出成形工場を構えるマテックスのフィリピン工場、Matex Planetary Drive International, Inc.。マテックスは大阪府八尾市に本社を置く、精密射出成形と樹脂金型部門に加えて、遊星歯車減速機の開発・製造に強みを持つ老舗企業（創業1921年）だ。

1997年1月、国内で取引のあった大手メーカーの現地生産拡大にあわせ、初の海外工場としてフィリピン進出を図る。現在では約40台の成形機を並べ、プラスチック射出成形及びアSEMBリーの24時間量産体制を実現している。

進出当初は成形機6台と7人の従業員からスタートしたが、数年間は限られた仕事しか取れずに、営業的には手探りの日々が続いた。しかし着実かつ確実な良品を作る同

社の技術へのこだわりが、ある日大きな転機を生むことになった。

インクジェットプリンターの機構部品であるプラスチック歯車の製造で、他社がこなしきれなかった部品の依頼が舞い込んできた。この1品を正確に作りあげることに全力で取り組んだ。

その後順調に受注拡大する中、在庫管理のまずさを指摘され一転ピンチに。日本人と現地スタッフがひとつになって改善に取り組んだ結果、正直にまじめに取り組む姿勢がお客様の信頼を得、新たな仕事と顧客層の拡大につながった。量産品の海外移転という環境下、現在では光学部品をはじめとして部分的には本社成形部門を凌駕する技術を持つに至っている。

今後も5年計画で同社の更なる挑戦が続く。2004年末に設立した中国（無錫）工場をハブ工場とし、本社工場、フィリピン工場

との連携を強化しながら、世界レベルでマテックスの地位を確立するため、海外生産の強化に一層力を入れていく。また、日本本社では高度技術分野への展開へ質的進化を図っている。

しかし拡大しても変わらないものがある。“製品1品1品へのこだわり”。マテックスの世界構想はこれからも続いていく。

会社情報（日本本社・海外事務所）

会社名	マテックス株式会社	エミダス 会員番号	73819
住所	大阪府八尾市水越1-125	F A X	072-941-8820
電話番号	072-941-8652		
代表者	的場年昭		
海外事業所名	Matex Planetary Drive International, Inc		
住所	Light Industry & Science Park II, Calamba, Laguna, Philippines		
資本金	500万ペソ／1億2447万円		
代表者	的場年昭		
設立	1996年9月		
従業員数	250名		
電話番号	+63-049-545-6807	F A X	+63-049-545-6809
経営内容	プラスチック射出成形及びアSEMBリー、金型製作、金属加工。		
製品種類	インクジェットプリンター用などのプラスチック射出成形部品。		



売上高（2008年）530万USドル、ISO9000・2000認証取得